

株式会社ニレコ(6863)

2016年3月期

決算説明会資料

2016年6月6日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

目 次

1. 前期実績
2. 今期見通し
3. 今後の取り組み

1. 前期実績 (2015/4 – 2016/3)

決算実績

売上高：ほぼ計画どおり 前期比高水準の伸び

営業利益：リーマンショック前の水準を超える

単位：百万円

	15/3期	16/3期		増減率	
	実績	計画	実績	前期比	計画比
受注高	6,216	7,650	7,567	+22%	-1%
売上高	6,140	7,400	7,472	+22%	+1%
営業利益	-5	430	649	-	+51%
営業利益率(%)	-	5.8	8.7		
経常利益	66	460	686	-	+49%
経常利益率(%)	1.1	6.2	9.2		
当期純利益	9	300	476	-	+59%
当期純利益率(%)	0.2	4.1	6.4		
1株当たり当期純利益(円)	1.28	41.63	65.80	-	+58%

セグメント別実績

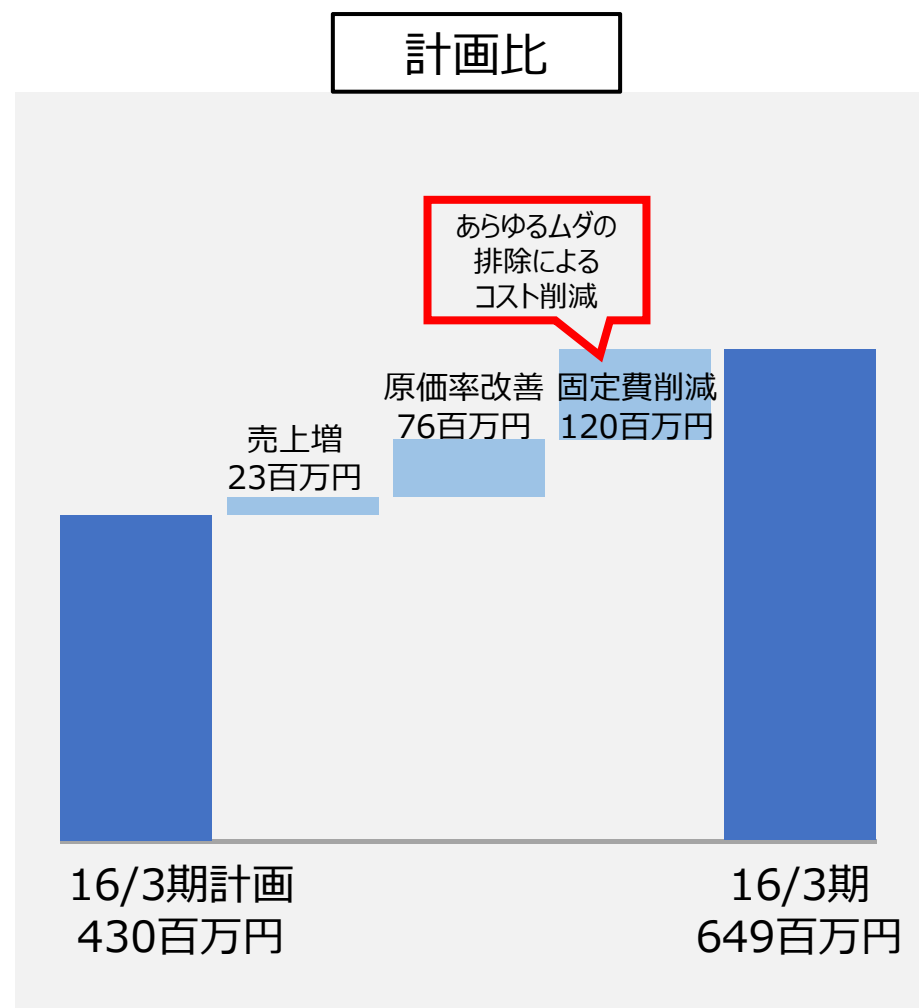
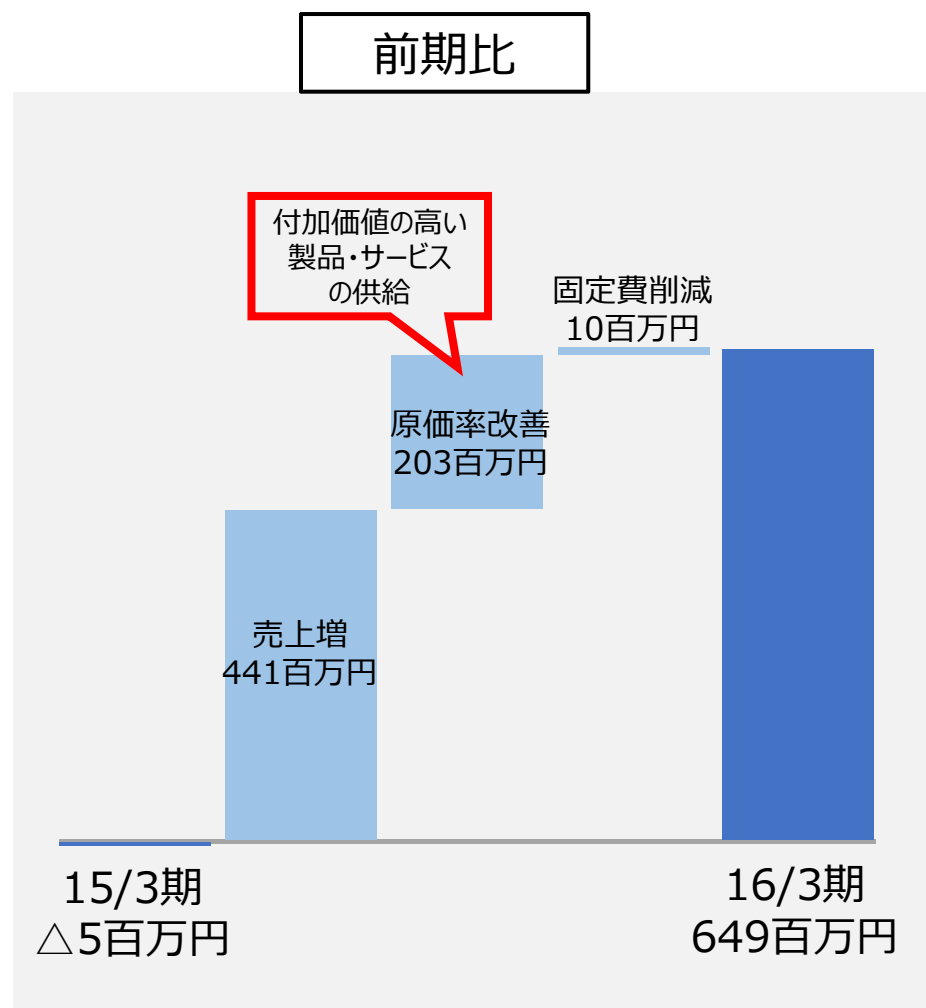
売上高：全セグメントで計画どおり 前期比 2 桁増収

セグメント利益：全セグメントで計画比・前期比ともに上回る

単位：百万円

		15/3期	16/3期		増減率	
		実績	計画	実績	前期比	計画比
プロセス事業	受注高	2,378	2,750	2,656	+12%	-3%
	売上高	2,266	2,600	2,610	+15%	+0%
	セグメント利益	307	450	610	+99%	+36%
	セグメント利益率(%)	13.6	17.3	23.4		
ウェブ事業	受注高	2,331	3,000	3,022	+30%	+1%
	売上高	2,656	3,000	3,018	+14%	+1%
	セグメント利益	197	270	352	+79%	+30%
	セグメント利益率(%)	7.5	9.0	11.7		
検査機事業	受注高	1,475	1,900	1,866	+27%	-2%
	売上高	1,183	1,800	1,820	+54%	+1%
	セグメント利益	-17	210	221	-	+5%
	セグメント利益率(%)	-	11.7	12.2		

営業利益増減要因



貸借対照表

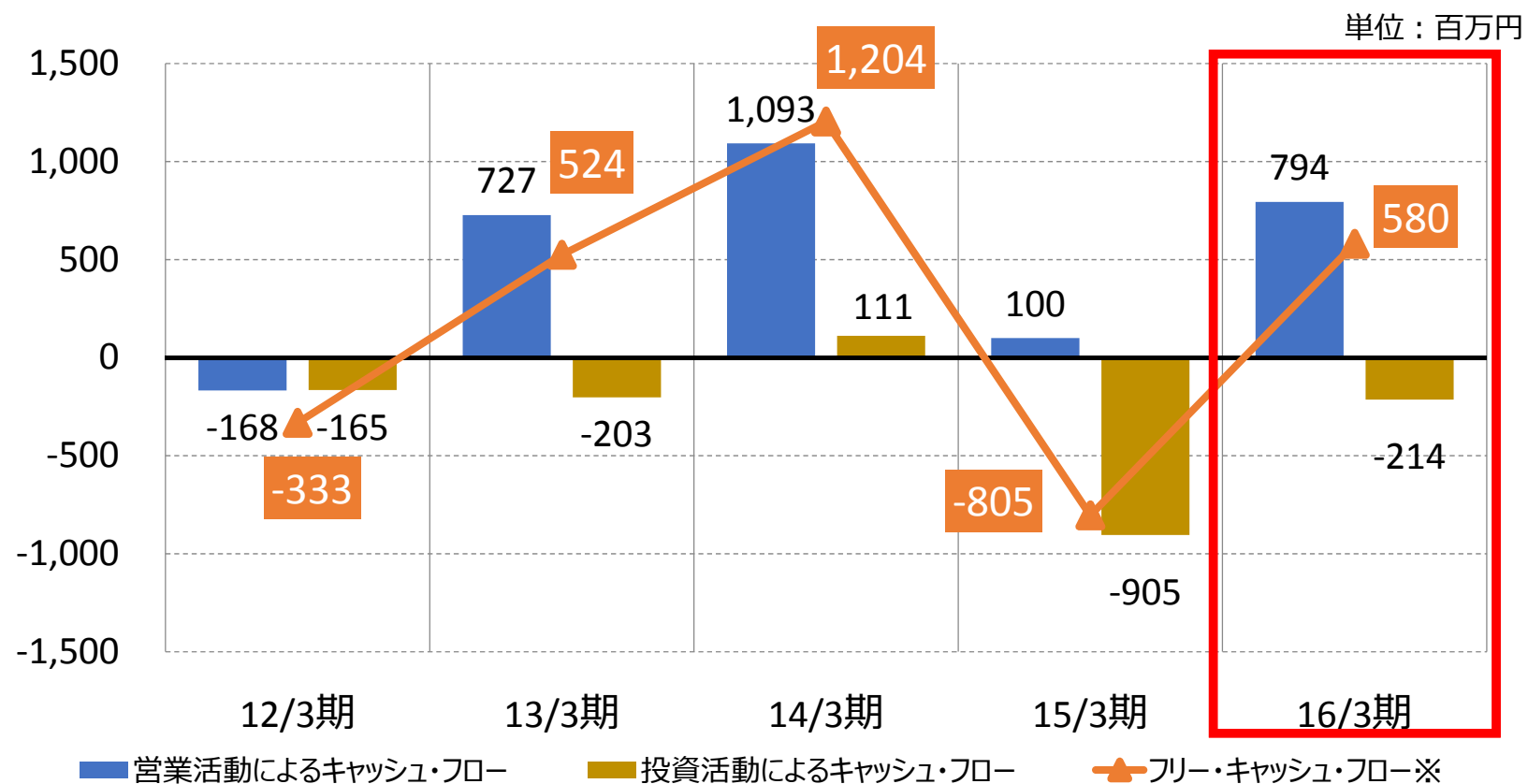
資産・負債・純資産に大きな変動なし

単位：百万円

	15/3期		16/3期		前期末比
	金額	構成比	金額	構成比	増減額
現金・預金	4,230	32.3	4,485	33.9	254
売上債権	2,719	20.7	2,909	22.0	189
有価証券	31	0.2	31	0.2	
棚卸資産	1,877	14.3	2,011	15.2	133
その他流動資産	375	2.9	318	2.4	-56
流動資産	9,235	70.5	9,756	73.8	520
有形固定資産	2,258	17.2	2,129	16.1	-129
無形固定資産	118	0.9	84	0.6	-33
投資その他資産	1,496	11.4	1,251	9.5	-244
固定資産	3,873	29.5	3,465	26.2	-407
資産合計	13,108	100.0	13,221	100.0	113
買入債務	316	2.4	337	2.5	20
その他流動負債	886	6.8	1,026	7.8	139
流動負債	1,203	9.2	1,363	10.3	159
固定負債	704	5.4	459	3.5	-244
負債合計	1,908	14.6	1,823	13.8	-84
純資産合計	11,199	85.4	11,398	86.2	198
負債・純資産合計	13,108	100.0	13,221	100.0	113

キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フロー794百万円 投資活動によるキャッシュ・フロー△214百万円
フリー・キャッシュ・フロー580百万円と大幅改善



※フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

2. 今期見通し (2016/4 – 2017/3)

主要対象市場の状況

プロセス事業

- 鉄鋼市場：世界的な需給バランス悪化から国内メーカーは老朽設備の更新が中心。海外メーカーの新規設備投資は限られたものに

ウェブ事業

- コーター市場：FPDや二次電池向け高機能フィルムを中心に堅調な設備投資が見込まれるもののコスト競争は激しいものに
- 軟包材市場：食品パッケージの高機能化・多様化により引き続き堅調な設備投資需要

検査機事業

- 高機能フィルム市場：次世代パネルや次世代電池等の電子部材向けに安定した設備投資需要
- 選果市場：国内は老朽設備の更新需要が中心、徐々に省力化ニーズ顕在化

今期見通し

売上高：前下期の受注状況を折り込み前期並み（今期受注高は前期比増）

営業利益：営業利益率は8 %台を維持

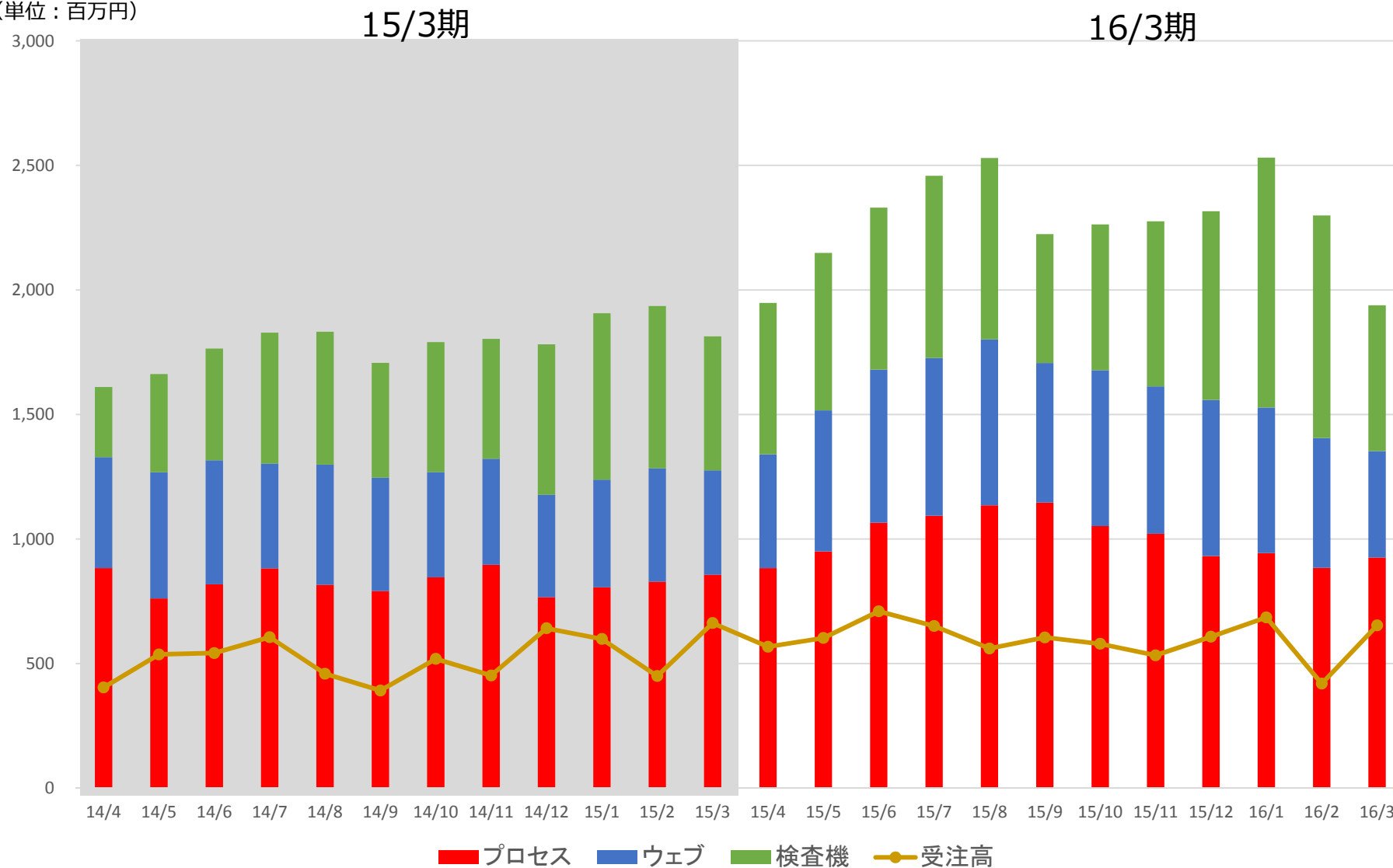
単位：百万円

	16/3期 実績	17/3期 計画	増減率 前期比
受注高	7,567	7,700	+2%
売上高	7,472	7,500	+0%
営業利益	649	650	+0%
営業利益率(%)	8.7	8.7	
経常利益	686	680	-1%
経常利益率(%)	9.2	9.1	
当期純利益	476	450	-6%
当期純利益率(%)	6.4	6.0	
1株当たり当期純利益(円)	65.80	61.90	-6%

受注残高状況推移

16/3月末の受注残高が20億円を割り15/3-4月末と同等レベルに

(単位：百万円)



セグメント別今期見通し

売上高：検査機事業は選果装置の伸び ウェブ事業は厳しい市場環境を織り込む

セグメント利益：全セグメントで前期水準の維持を目指す

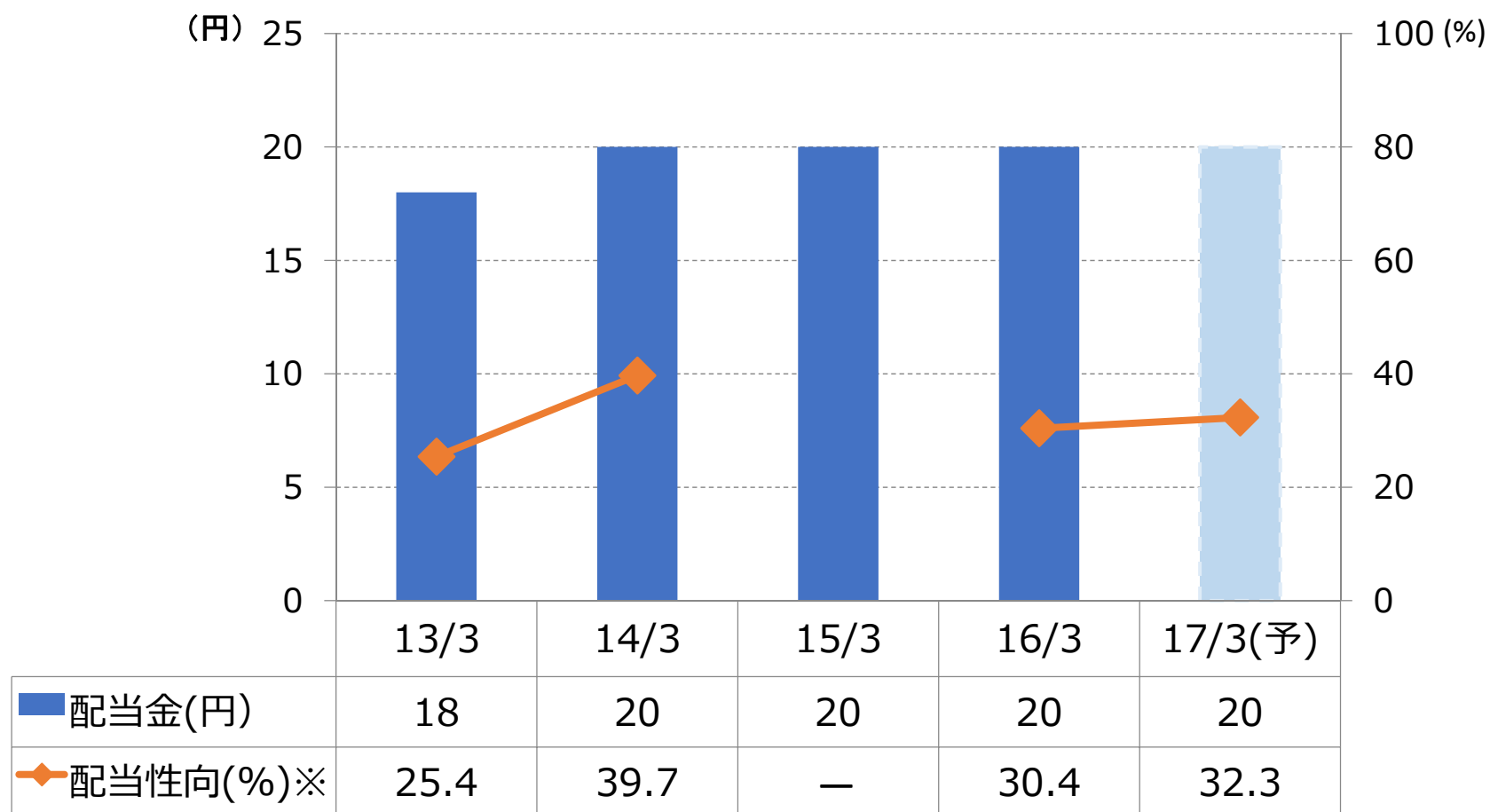
単位：百万円

		16/3期 実績	17/3期 計画	増減率 前期比
プロセス事業	受注高	2,656	2,750	+4%
	売上高	2,610	2,650	+2%
	セグメント利益	610	560	-8%
	セグメント利益率(%)	23.4	21.1	
ウェブ事業	受注高	3,022	2,900	-4%
	売上高	3,018	2,900	-4%
	セグメント利益	352	320	-9%
	セグメント利益率(%)	11.7	11.0	
検査機事業	受注高	1,866	2,050	+10%
	売上高	1,820	1,950	+7%
	セグメント利益	221	300	+35%
	セグメント利益率(%)	12.2	15.4	

株主還元について

16/3期の配当金は1株当たり20円（配当性向30.4%）

17/3期は安定配当の維持を基本に配当性向32.3%予定



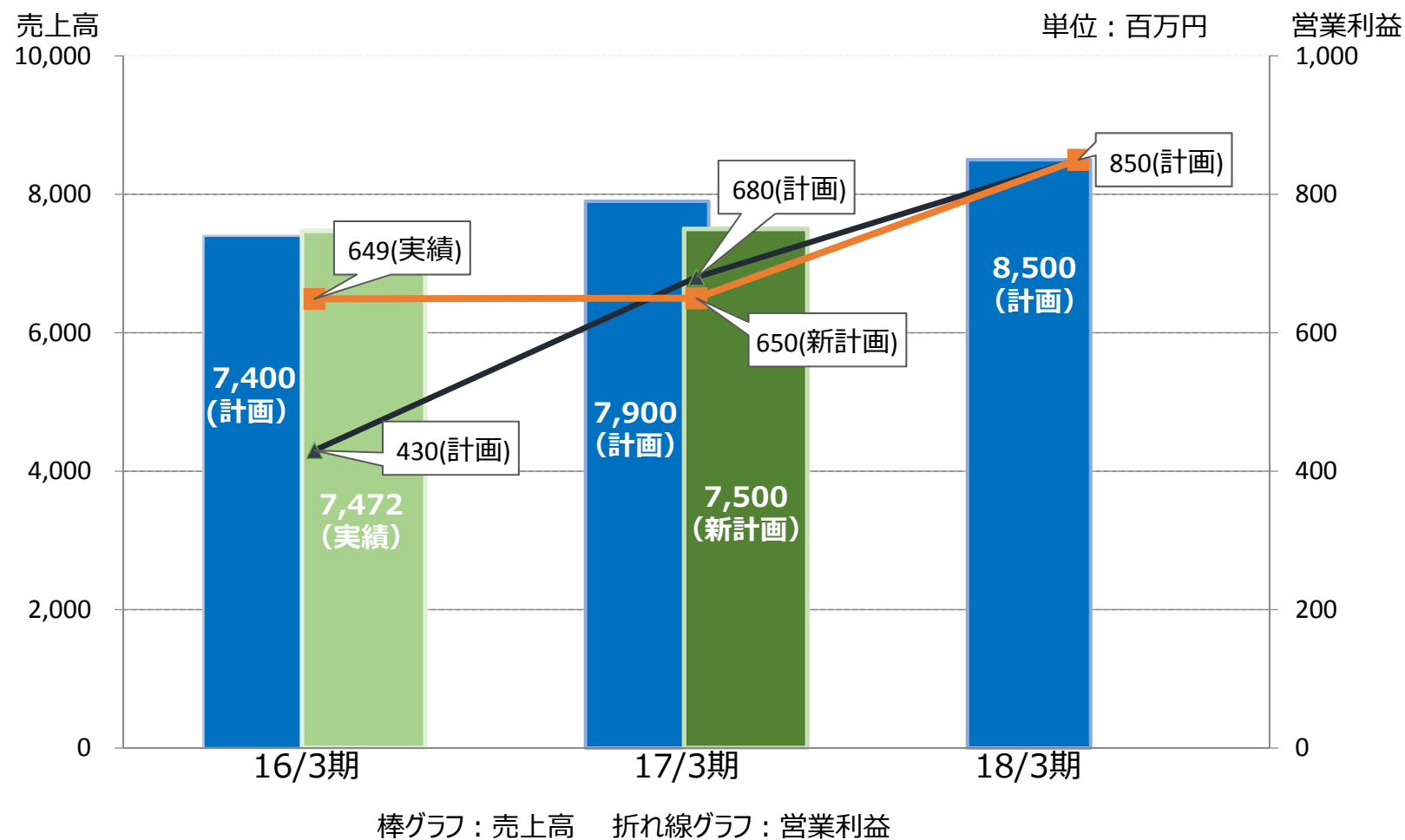
（※配当性向は連結ベースを表示）

3. 今後の取り組み

中期3カ年計画進捗

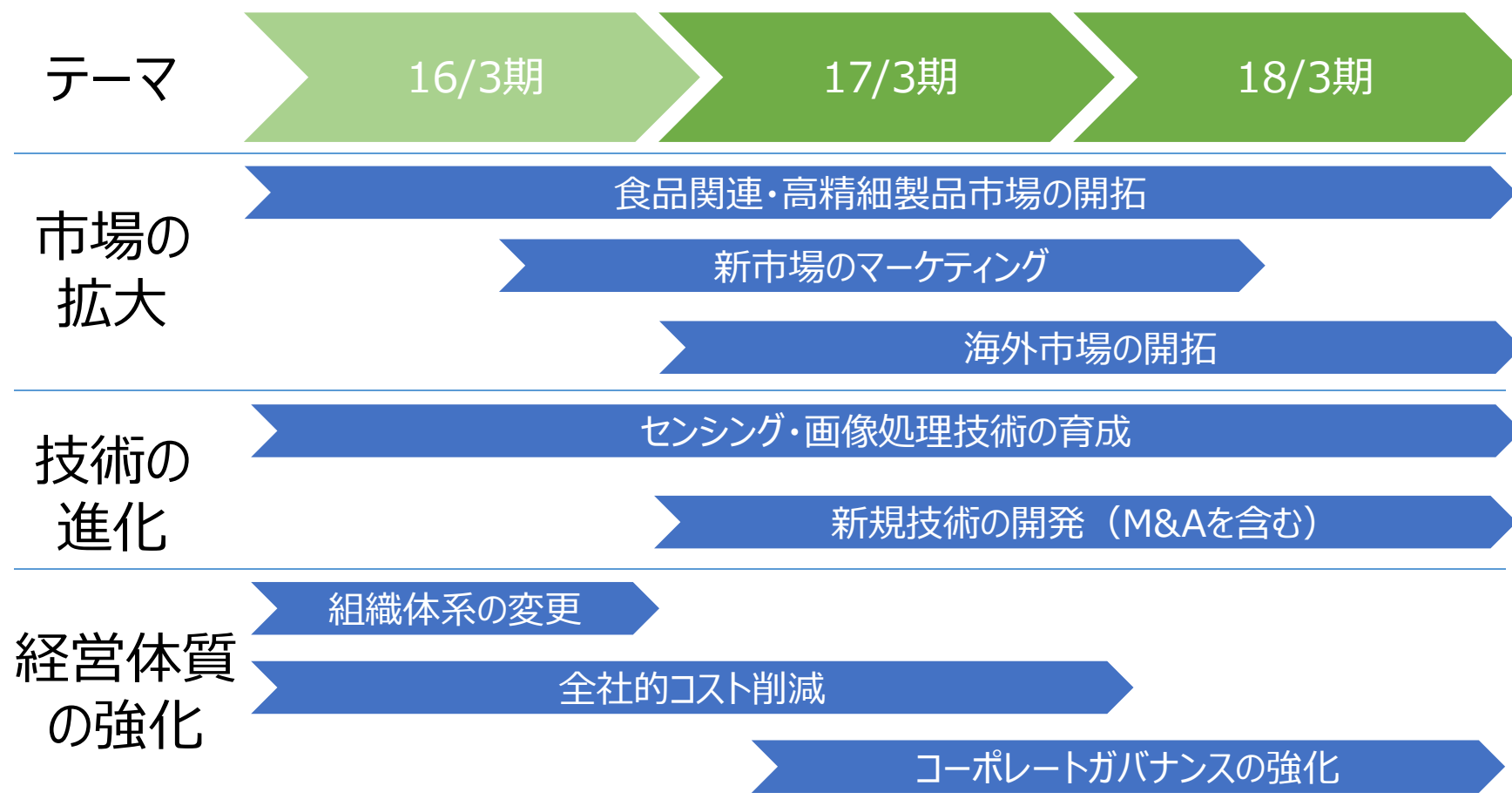
16/3期は当初計画を上回る利益の改善

17/3期は同水準を維持しつつ積極的な投資により18/3期の営業利益達成を視野



今後の取り組み

積極的な投資により足りないリソースを補完 持続的な成長ステージの早期実現を目指す



今後の取り組み

プロセス事業

- 老朽設備更新に伴う潜在需要の掘り起し（国内）
- 生産の更なる自動化に貢献する製品ラインアップの拡大（国内）
- 販売・サービス網の確立による周辺エリアを含めた顧客開拓（海外）

ウェブ事業

- パターン認識技術を応用した新製品による軟包装市場の開拓
- サービス品質の向上による顧客密着型ビジネスへの変革
- 部材の標準化・モジュール化による生産コストの低減と効率の向上

検査機事業

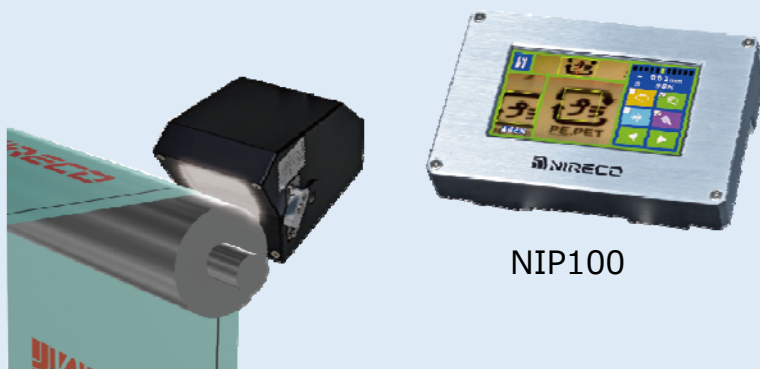
- 無地検査装置機能の拡充による高機能フィルム用途の拡大
- 高まる食の安全と品質志向に照準を合わせた新製品の開発・拡販
- 選果装置の海外展開強化

新製品のご紹介

市場の潜在ニーズに応じた新製品の積極的な投入により市場を開拓

DPC

印刷絵柄を基準にした蛇行制御を実現



NIP100

NIC100



制御画面のイメージ

ロボット選果装置

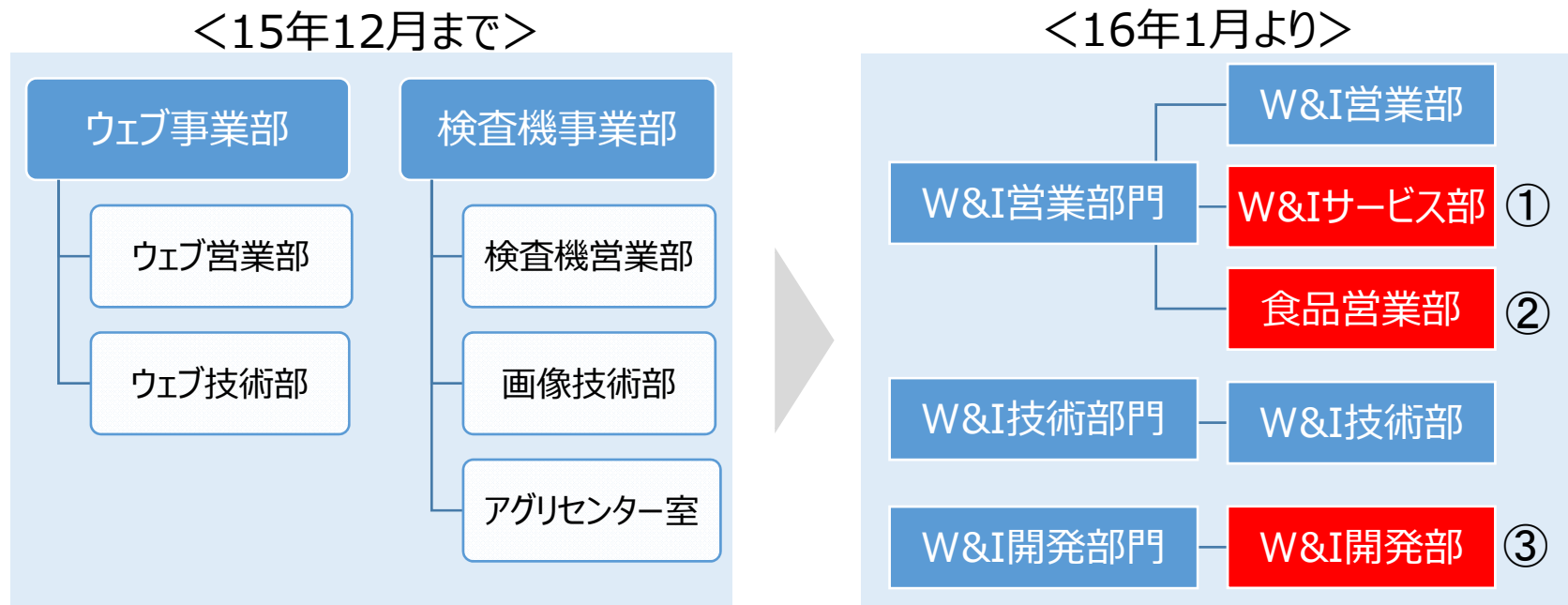
農家の人手不足を解消



RB1000

組織体系の変更

ウェブと検査機は親和性の高い事業につき事業部の縦割りから機能別横割り組織へ



➤ 狙い

- ① サービスによる売上・収益を全社レベルで高める
- ② 食品関連市場の本格開拓を進める
- ③ コア技術であるセンシング、画像処理技術のレベルを高める

コーポレート・ガバナンスの強化

「技術と信頼」の経営理念の下、持続的な成長と企業価値向上のために
コーポレート・ガバナンス体制の充実・強化に取り組む

監査等委員会設置会社への移行

- 社外取締役の複数選任
 - ・ガバナンスの強化
 - ・透明性、客観性の向上
- 取締役への権限委譲
 - ・取締役会における議論の充実
 - ・意思決定の迅速化

コーポレートガバナンス基本方針の策定

- 資本政策に関する方針の策定
 - ・公正かつ透明性の高い経営の実現
- 株主・投資家との対話に関する方針の策定
 - ・情報開示の充実
- 役員報酬体系の見直し
 - ・業績連動性の向上

更なる企業価値向上を実現

6/28株主総会承認後に導入予定

END

参考資料

会社概要

会社名	株式会社ニレコ
代表取締役社長	久保田 寿治
本社所在地	東京都八王子市石川町2951-4
設立	1950（昭和25）年11月
上場市場	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
資本金	3,072百万円*
連結従業員数	342名*
連結売上高	7,472百万円*

* 2016年3月期連結ベース

沿革

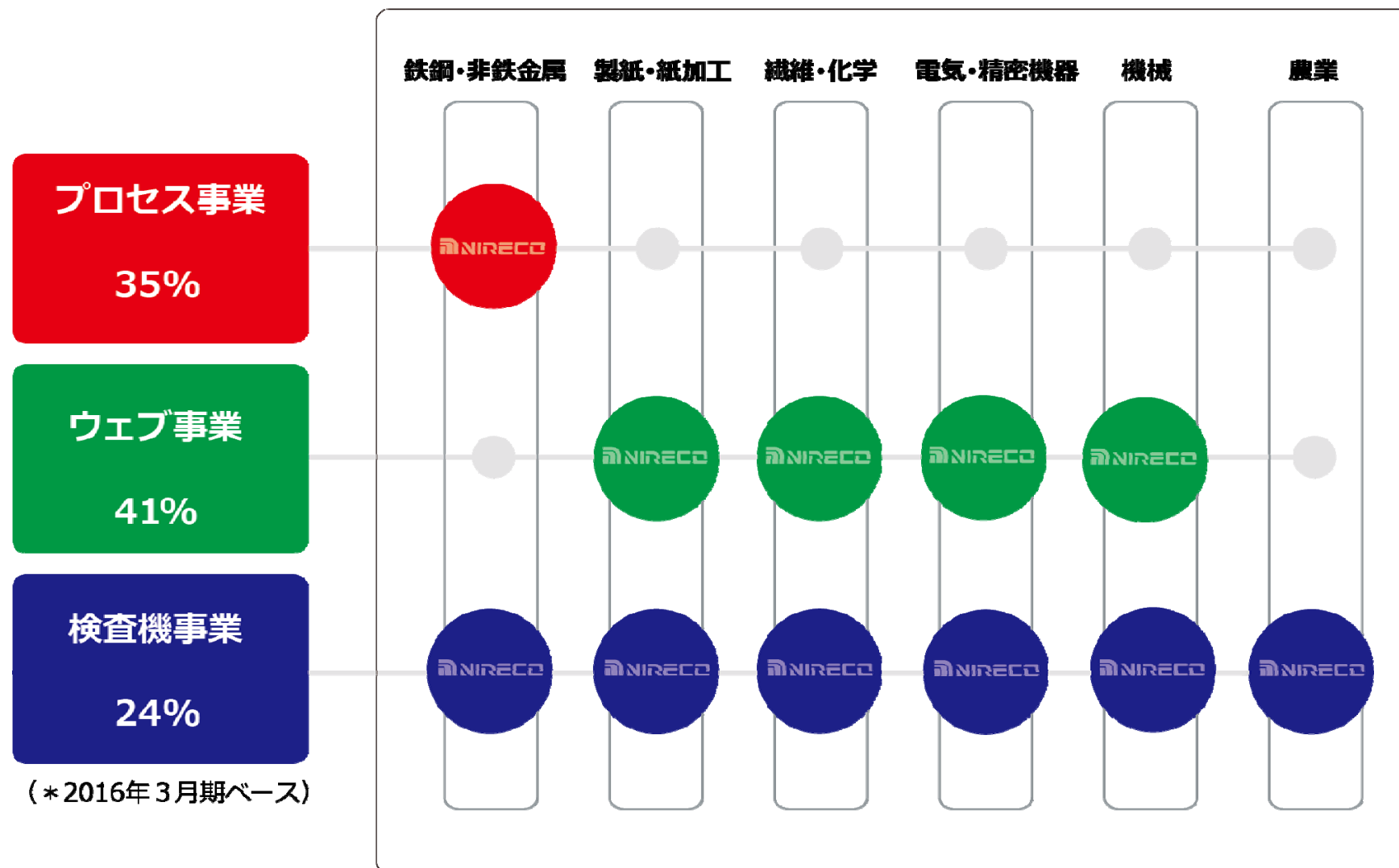
- 1950年 : 東京都中央区に日本レギュレーター株式会社を設立
- 1979年 : 東京都八王子市に本店を移転
- 1984年 : 商号を「株式会社ニレコ」に変更
- 1989年 : 日本証券業協会に株式を店頭公開
- 1990年 : ミスミ電子株式会社（現ミヨタ精密株式会社）を子会社化
- 1998年 : 仁力克股份有限公司を子会社化（台湾）
- 2003年 : 尼利可自動控制机器（上海）有限公司を設立（中国）
- 2004年 : JASDAQ証券取引所（現東京証券取引所JASDAQ（スタンダード））に上場
- 2014年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.を設立（韓国）

経営理念

「技術と信頼」

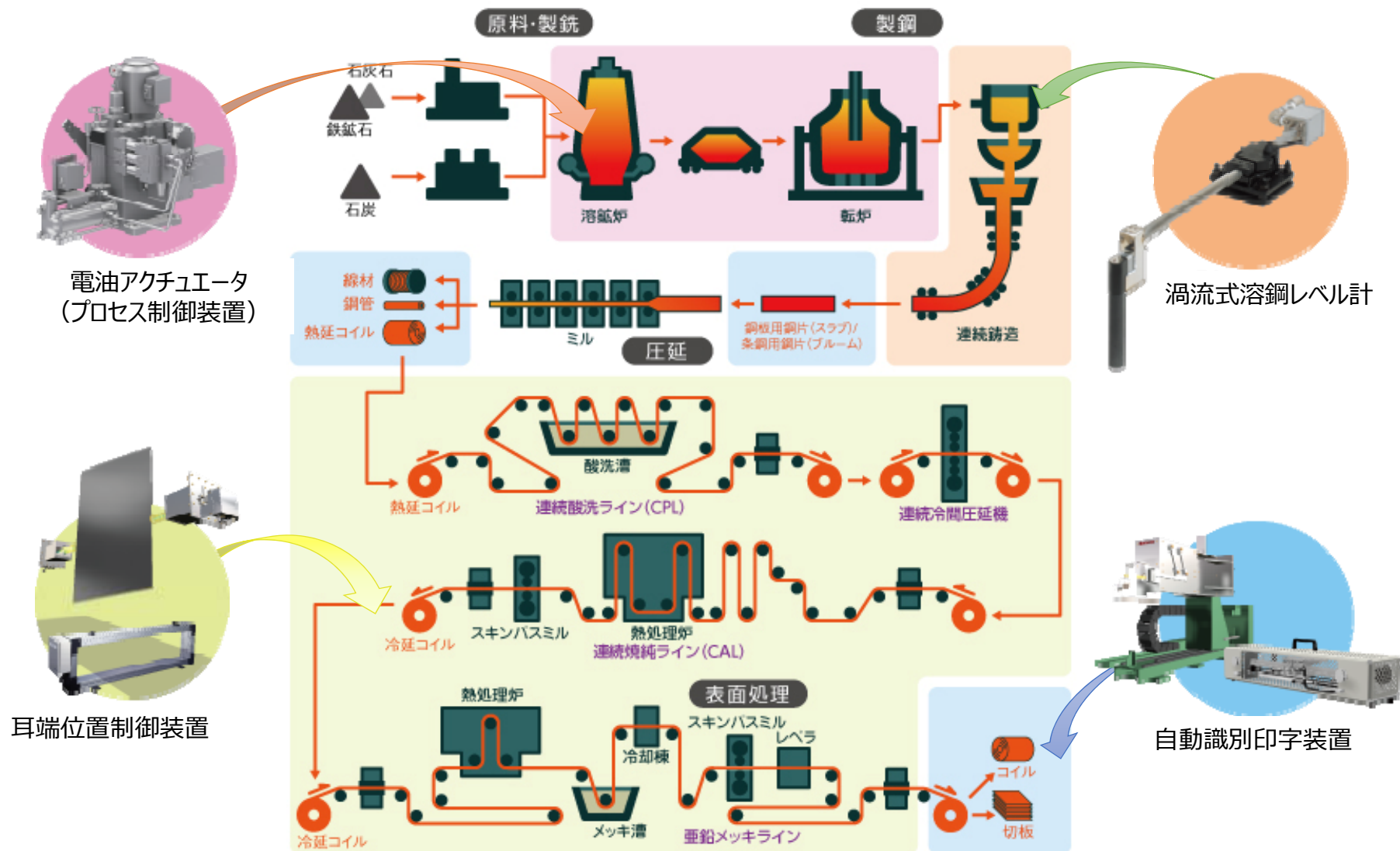
われわれは、制御、計測、検査技術を活かした製品ときめ細かいサービスの提供により、お客様から厚い信頼を獲得し、良きパートナーとして共に成長します。ひいてはパートナーシップにより生み出された価値が広く社会において歓びと感動をもたらす経営を目指します。

事業別売上高構成比とマーケット



プロセス事業

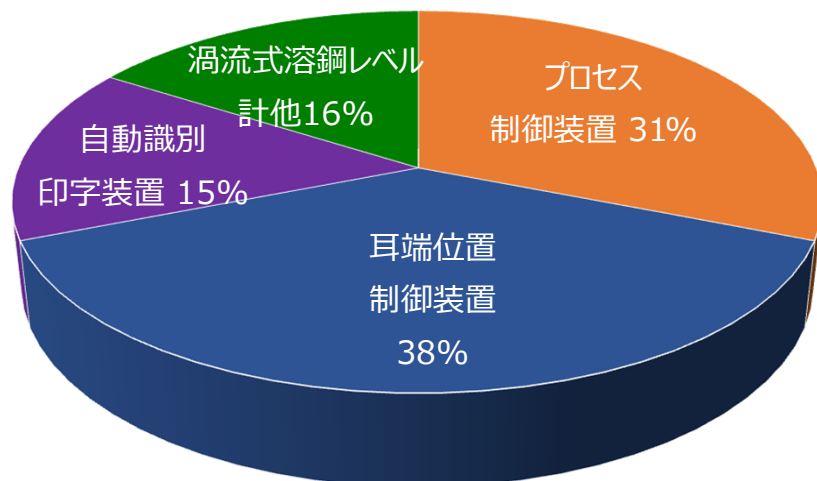
鉄鋼をはじめ、金属、ガス、化学工業などあらゆる工業における自動制御装置を扱う事業です。



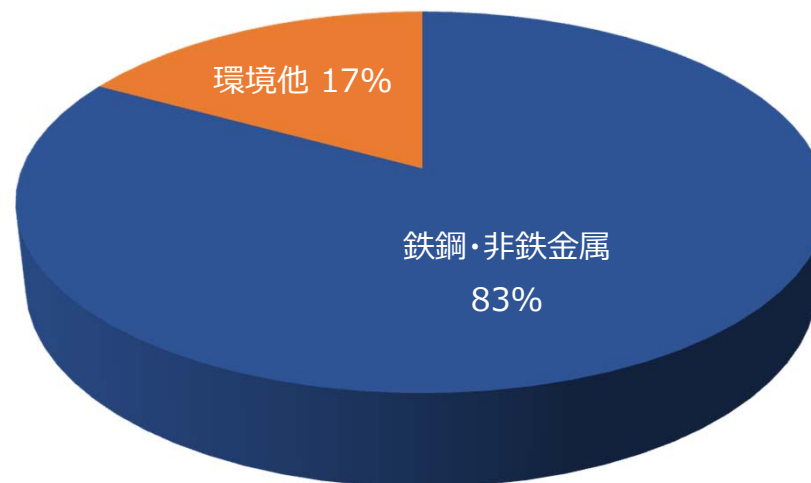
プロセス事業売上高内訳

16/3期：2,610百万円

製品別構成比

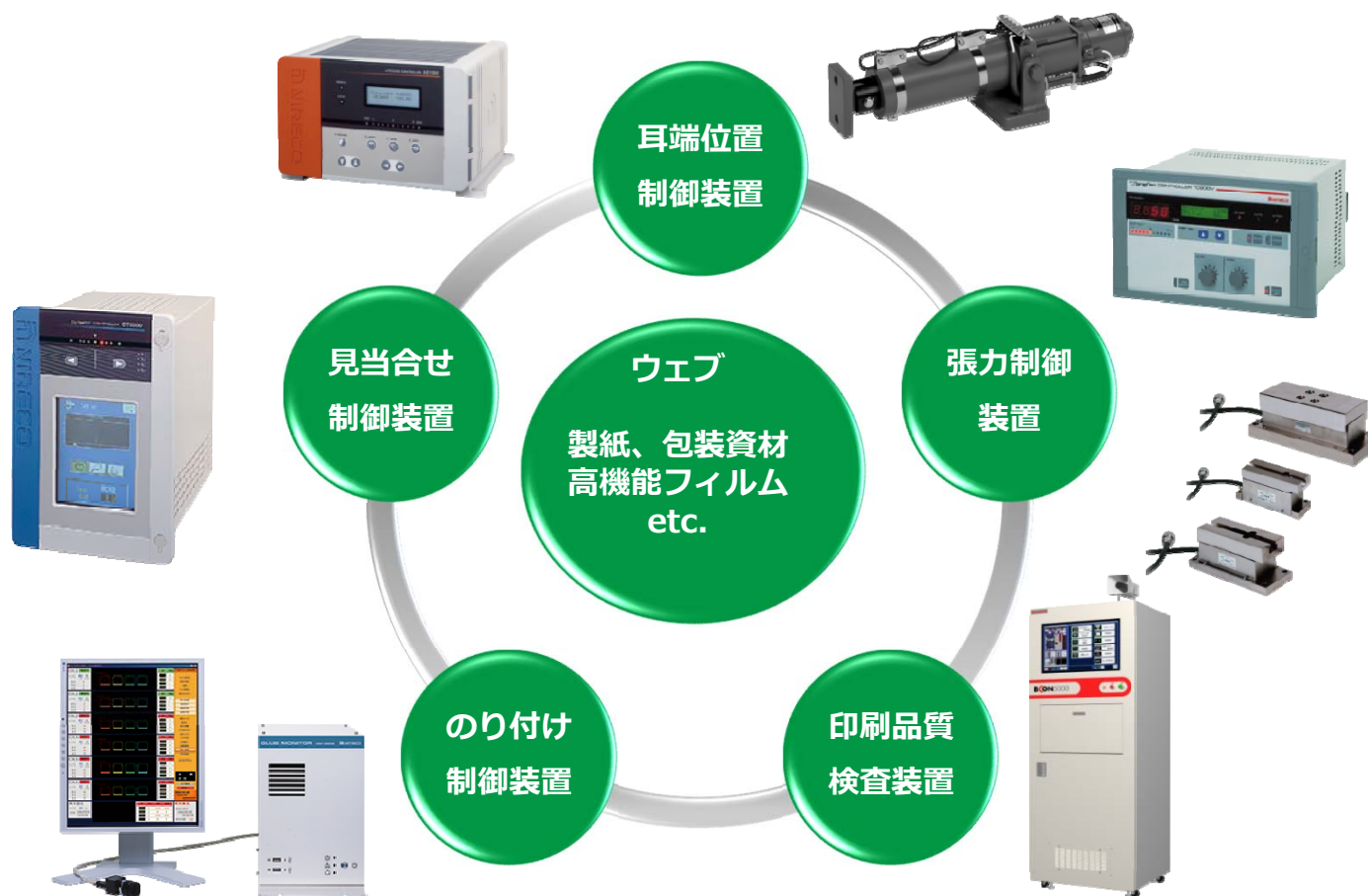


業種別構成比



ウェブ事業

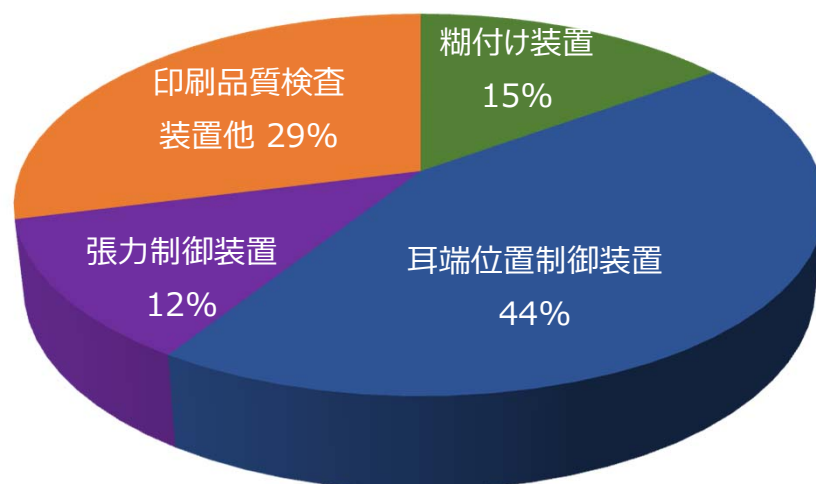
主に紙・フィルム・箔など薄いシート状素材（=ウェブ）の位置制御装置などを扱う事業です。



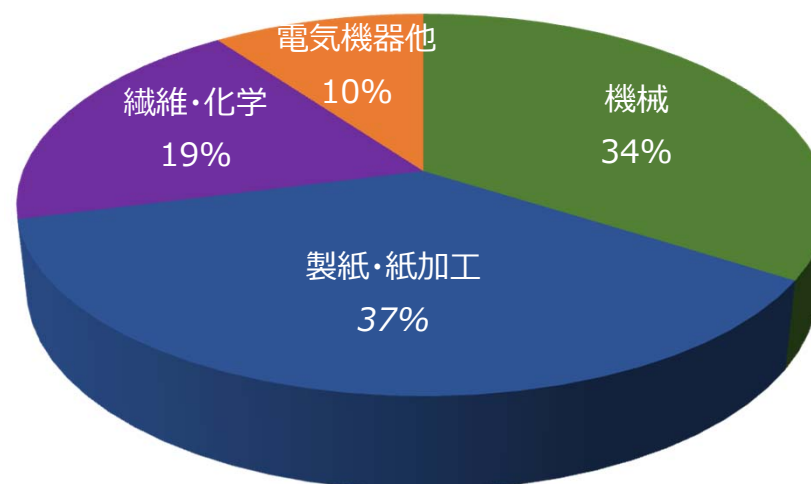
ウェブ事業売上高内訳

16/3期 : 3,018百万円

製品別構成比

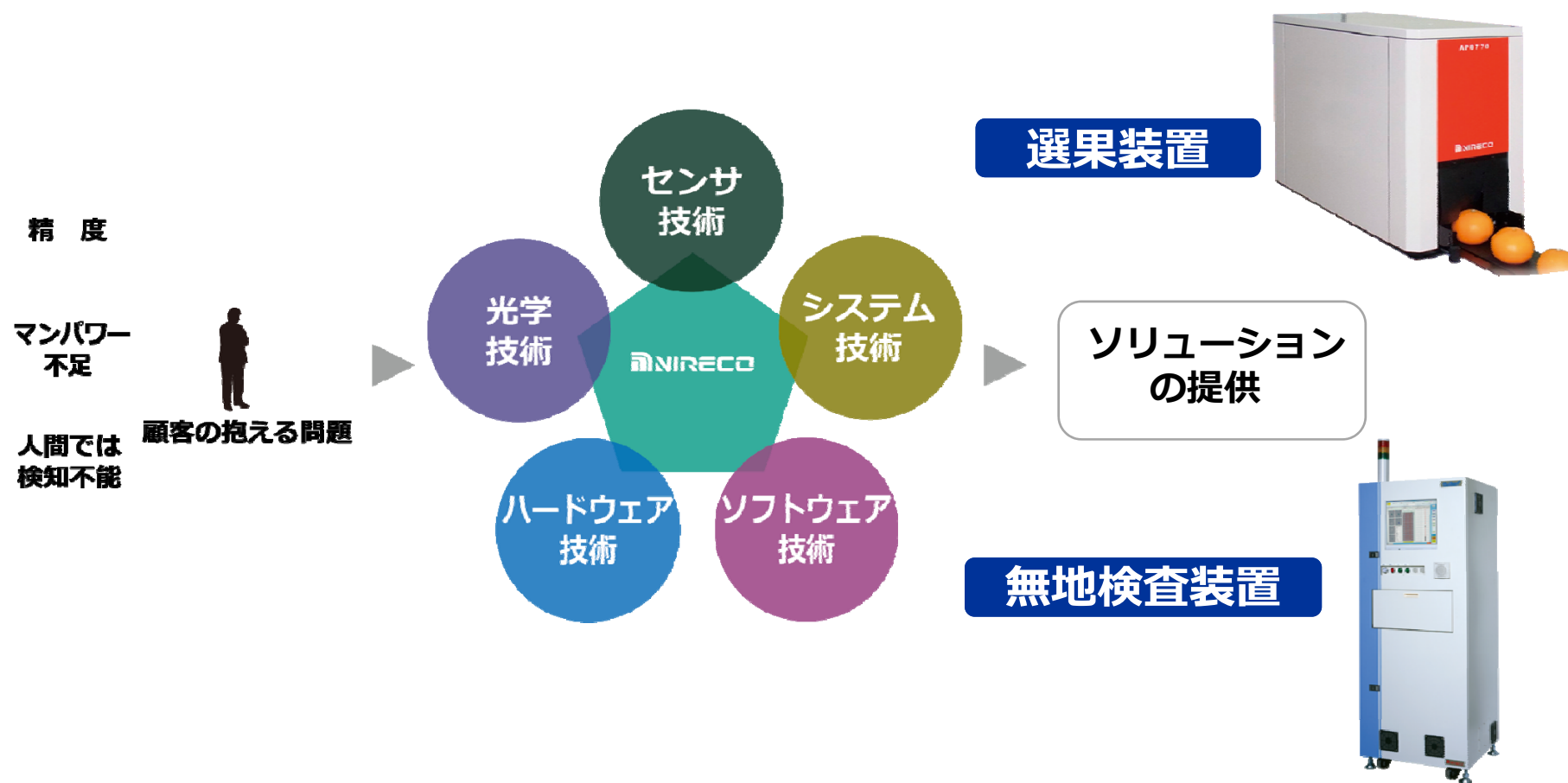


業種別構成比



検査機事業

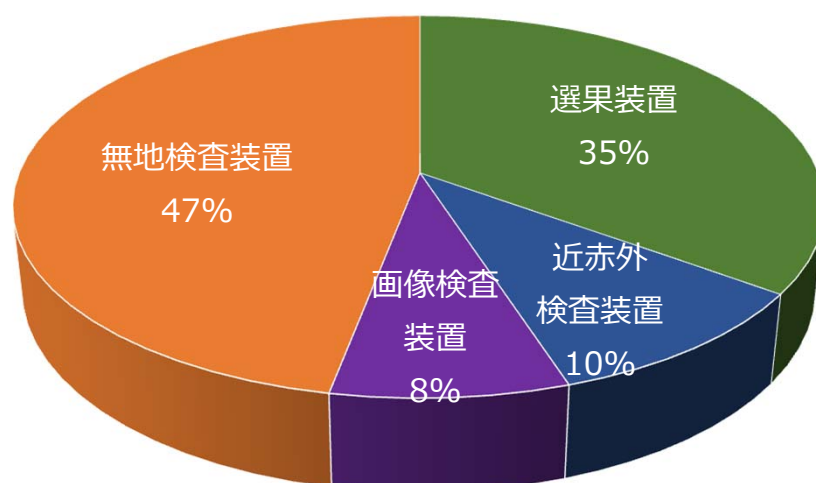
長年に渡り培ってきた画像処理技術をベースに、農産物から電子部材に至るまで幅広い製品の品質検査装置を扱う事業です。



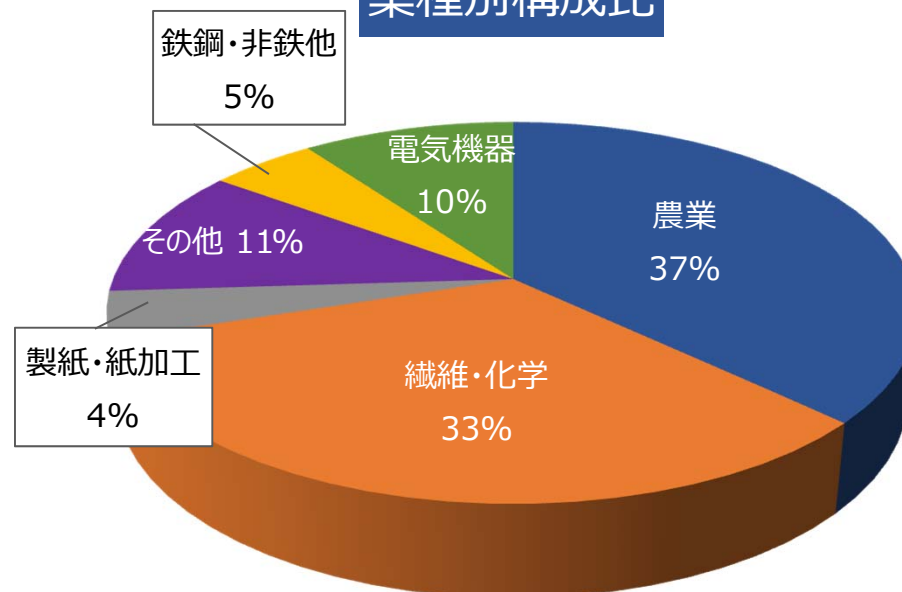
検査機事業売上高内訳

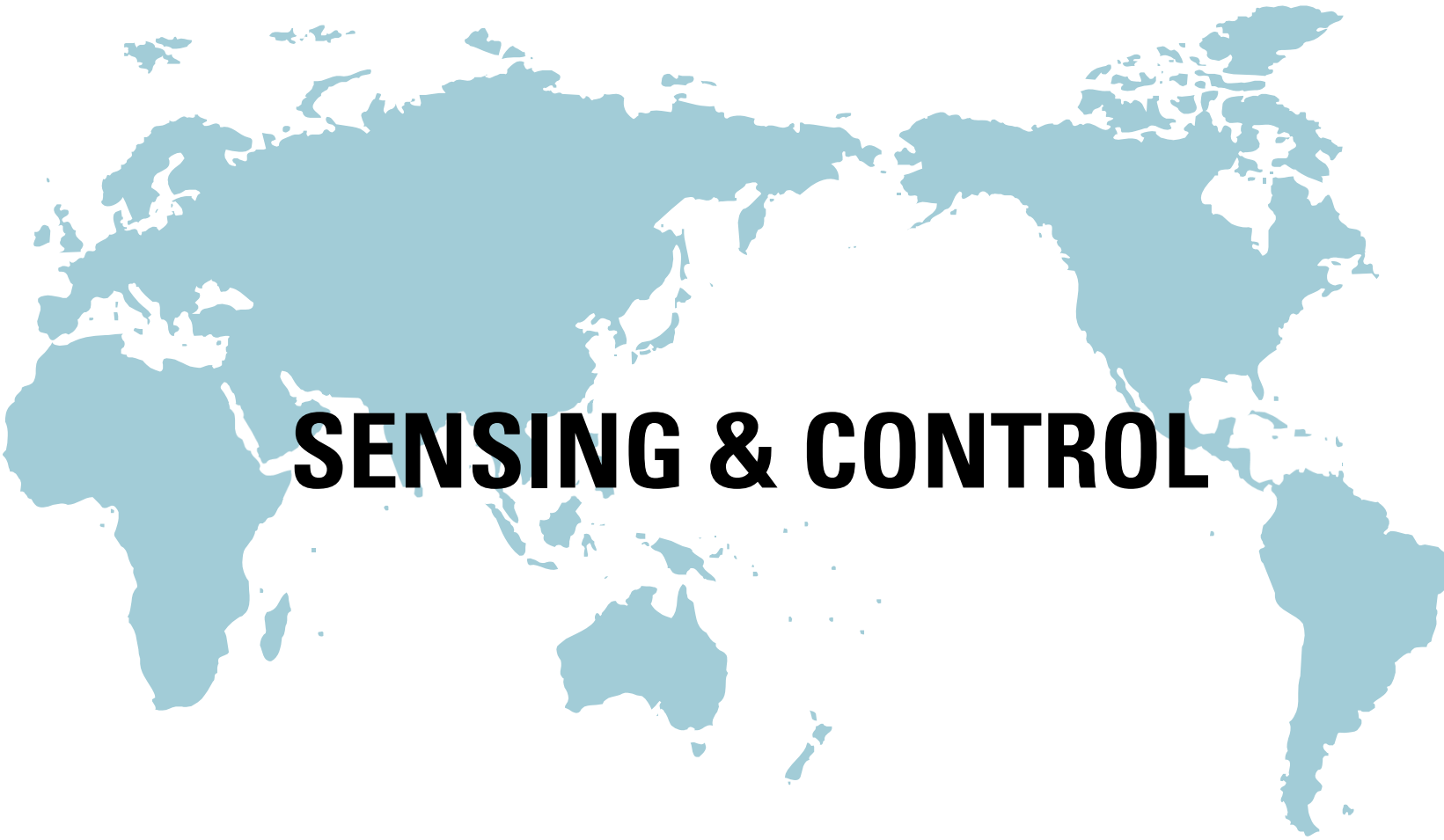
16/3期：1,820百万円

製品別構成比



業種別構成比





SENSING & CONTROL

I R 関連のご質問・ご意見はこちらへ
電話 : 042-660-7301
<http://www.nireco.jp/contact/ir.html>